



オ ラ メ ヒ コ

Hola! México

話題のメキシコがわかるレポート

【第3回】

2度の痛みを乗り越え、生まれ変わった経済とは

近年、安定した経済成長を遂げているメキシコですが、かつて2度にわたり経済が危機に瀕したことがありました。しかし、苦い経験から得た多くの教訓を現在の政策運営に活かしています。メキシコはどのような危機を乗り越え、今に至っているのでしょうか。今回は、メキシコの経済のあゆみについての情報をお届けします。



2度も味わった経済破綻

近年のメキシコは、安定した経済成長路線を歩んでいます。2012年の名目GDPは世界第14位、今やBRICsに次ぐ、新興成長国として期待されています。しかし、メキシコは、1982年に「債務危機」、そして1994年にも「通貨危機」に見舞われ、経済が大きなダメージを受けた経験があります。

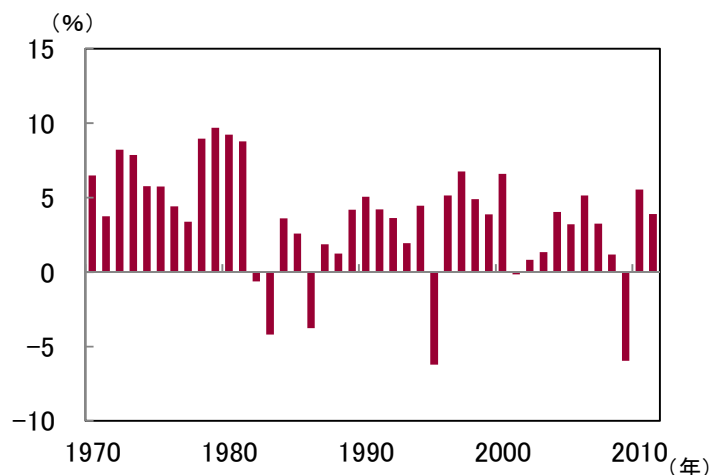
1970年代後半、メキシコは豊富な石油資源を背景に石油開発と工業化推進のため、海外の金融機関などから多額の外貨資金を借り入れていました。しかし、80年代に入ると、過剰な対外債務を抱え込み、その後、米国金利が急上昇すると、対外債務の支払負担が急増しました。さらに原油価格下落もあり、メキシコの債務返済能力は著しく低下し、深刻な外貨資金不足に陥りました。これを受け、メキシコの債務危機が世界経済に与える影響を懸念した米国政府やIMF(国際通貨基金)などが緊急融資を行い、その条件として、財政赤字の削減など経済安定化政策が義務付けられました。この債務危機は1989年のブレイディ・プランと呼ばれる対外債務の再編で一応の終息を見ました。

債務危機から脱出したメキシコ経済は順調に回復していましたが、1994年には、「テキーラ・ショック」と呼ばれる「通貨危機」が発生しました。先住民による反乱や、大統領候補の暗殺など、政情不安が顕在化し、これを懸念

した海外投資家の資金が国外へ急激に流出しました。このため、メキシコ中央銀行はドル売りペソ買いの為替介入を実施、加えてペソの対米ドルレートの切り下げや変動相場制へ移行したものの、ペソは大量に売られ、大暴落に見舞われました。

メキシコの通貨危機は、その後、他の中南米諸国などにも波及、結果的にメキシコはIMFや米国などを中心に再び多額の金融支援を受けることとなりました。

実質GDP成長率の推移(1970年～2011年)



出所：世界銀行のデータをもとにHSBC投信が作成



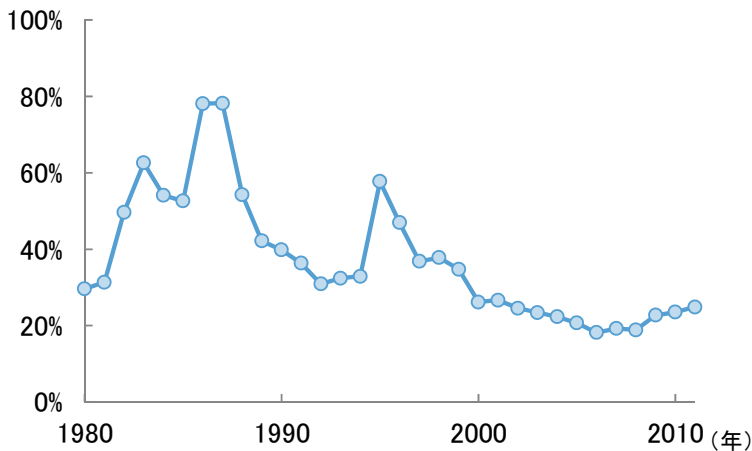
苦い経験を乗り越えて得た教訓

過去、苦い経験を味わったメキシコですが、危機の際の政策対応の経験がその後のメキシコの危機対応能力を高め、現在の経済成長を支えていると言えます。

1980年代の債務危機当時のメキシコ経済は構造的な脆弱さを抱えていました。例えば、対外債務残高はGDPを大きく上回る水準にまで達し、財政収支も大幅な赤字となっていました。

このような経済の脆弱性が危機を招いたとの反省から、メキシコ政府は対外債務の返済能力の強化や、財政赤字の削減に積極的に取り組みました。

対外債務の推移（対GDP、1980年～2011年）



出所：世界銀行のデータをもとにHSBC投信が作成

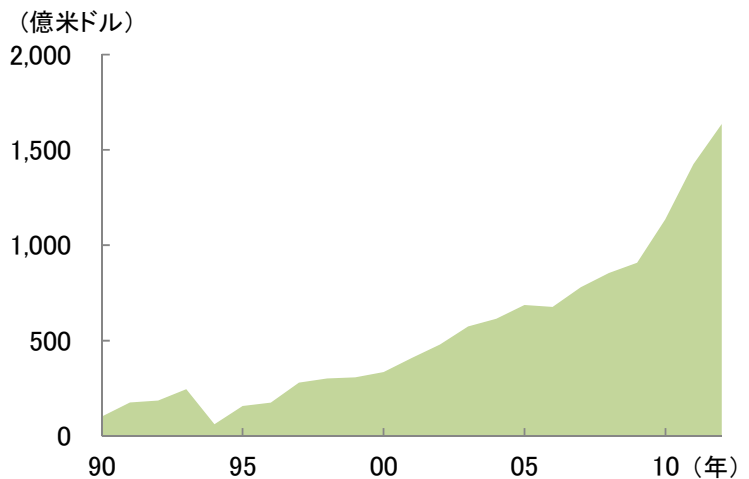
1994年の通貨危機前には、メキシコの債券・株式などに海外からの資金流入が急増し、過剰に流入した短期資金の一斉流出が危機をもたらしたことから、長期安定資金である直接投資の重要性を認識し、外資規制を緩和をすることで、直接投資を呼び込むことに努めました。

また、当時は自国通貨の価値を支えるために必要な外貨準備高を十分に備えておらず、これが、為替介入による為替レートの維持を不可能にし、ペソ暴落となったことから、対応策として、外貨準備高を積み上げてきました。

このような努力の結果、財政は次第に安定を取り戻しました。具体的には対外債務の改善に加え、財政赤字も大きく減少、2006年には財政収支の均衡を義務付ける「財政責任法」によって財政の規律が強化され、財政収支は赤字であるものの、低い水準を維持しています。

さらに外貨準備高も過去最高水準まで増加。1993年末の約245億米ドルから、1994年末には一時約62億米ドルにまで大幅に減少しましたが、2012年末現在、1,600億米ドルを超える水準となっています。

外貨準備高の推移（1990年～2012年）



出所：データストリームのデータをもとにHSBC投信が作成

現在、先進国では財政問題が深刻化していますが、メキシコは財政規律の維持に努めており、財政は相対的に安定していると考えられます。このような経済の安定を背景に、メキシコの信用力は近年向上しています。大手格付会社S&Pによる格付*は自国通貨建(A-)、外国通貨建(BBB)ともに投資適格級であり、新興国の中でも相対的に高い水準です。

2度も経済危機に直面しましたが、過去の苦い経験から学んだ教訓を活かした改革の実行により、大きく生まれ変わったメキシコは、これからもさらなる飛躍が期待されます。

*スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P)による2013年5月末現在の格付



元メキシコ駐在員が語るメキシコの「へえ～」

着任間もない人は腹ペコ？

メキシコの為替や資金のマーケットはお昼休みの中断もなしにだいたい午後1時半から2時ぐらいまでなので、一般的に企業の午前中というのは、実態として午前9時の始業から午後2時ぐらいまでを指します。すると、自ずとお昼休みは午後2時を回ってからということになります。慣れるとそれなりのペースが出来るとは云うものの、着任間もない人は何よりもまずこの「食習慣」がメキシコにおける最初の洗礼です。



最安ランチは屋台のタコス！

ランチで最も安いと思われるのは、3個80円ぐらいの屋台のタコス。メキシコシティの街中では、結構、スーツにネクタイ姿の人も立ち食いをしていたりする、究極のファストフードです。日本食弁当のデリバリーを頼むと1,000円～1,200円ほど。ホテルの日本食レストランのランチだと1,500円～2,000円ぐらいからありますが、丁重な扱いを受けるので急いでご飯をかき込みたいと思っても日本のように早メシという訳にはいきません。

メキシコビールにレモンが付いて来ない

日本でもポピュラーなメキシコ・ブランドの某ビールは、世界で一番売れているメキシコのビール。日本でもニューヨークでも、レモン片を飲み口に挿して出され、これを瓶の中に押し込んでラッパ飲みするというのが“世界の常識的”なオシャレな飲み方でしょう。メキシコではきつこうやって飲むものなんだと永らく思い込んでいたのですが、実は、メキシコでは一度たりともそんな出し方をされたことはありませんでした。

テキーラのチェイサーは？



同じように、大方の日本人が思っているテキーラの飲み方と言えば、塩とレモンを片手に、という飲み方だと思いますが、実はこれも一度もメキシコでは見ませんでした。周りのかなりの数のメキシコ人に聞いてみましたが、不思議なことに誰もそんな飲み方を知りませんでした。ちなみに、テキーラのお伴はトマトジュース。カバジートと称する円筒形をしたテキーラ用のショットグラス2つに、片方にはテキーラを、もう一方にトマトジュースを入れて飲みます。チェイサーのこのトマトジュースは、サングリアとも呼ばれますが、スペインの赤ワインベースのパンチとは違い、唐辛子や塩などを混ぜてあるやや濃いものです。

スーパーの生鮮食品売り場には消毒液が・・・

但し、生野菜を食するにはいささかの覚悟が要ります。何しろ、スーパーマーケットの生鮮野菜売り場の脇には消毒液がごく普通に売られているぐらいで、運が悪いとお腹をやられます。とうもろこし、カボチャなど、メキシコ原産の野菜はたくさんあるのですが、とにかく「土」がついたものは要注意で、果物でもイチゴなどは気を付けるべしと云われています。ちなみに、メキシコ国旗の真ん中にデザインされている国章で、鷲が止まっている“うちわサボテン”は、サラダの中に入れるなど食用としてとてもポピュラーで、スーパーでは平たく山積みにして売られています。うちわサボテン自体にはあまり味はないものの、コリコリした食感で粘り気もあり、健康的な食べ物です。



< 当資料に関する留意点 >

- ▶ 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ▶ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ▶ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ▶ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

< 投資信託に関する留意点 >

投資信託に係わるリスクについて

- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

- 購入時に直接ご負担頂く費用・・・ 購入時手数料 上限3.675%(税込)
- 換金時に直接ご負担頂く費用・・・ 信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に
間接的にご負担頂く費用…………… 運用管理費用(信託報酬) 上限年2.1%(税込)
- その他費用…………… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
交付目論見書、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

注: 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、
ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会